

2019年5月8日

報道関係各位

三菱地所株式会社
下地島エアポートマネジメント株式会社
株式会社大韓航空

下地島空港に初の国際チャーター便運航！ 大韓航空 ソウル（仁川）＝下地島間を計4往復

三菱地所株式会社(以下、「三菱地所」)が整備し、下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）が運営する「みやこ下地島空港ターミナル」に、このほど韓国を拠点とする航空会社である株式会社大韓航空（以下、「大韓航空」）が、下地島空港初の国際チャーター便となるソウル（仁川国際空港）＝下地島間のチャーター便を計4往復運航することを決定しました。

大韓航空は、2019年5月下旬～6月上旬のうちの4日間、ソウルと下地島空港間を往復する国際チャーター便を運航します。同社は2018年1月にも宮古諸島を計4往復するチャーター便を運航しており、その際には300名以上の旅行客が宮古諸島を訪れました。

三菱地所とSAMCOは、沖縄県や宮古島市、沖縄観光コンベンションビューロー、宮古島観光協会と連携し、官民一体で本チャーター便を含む航空路線の利用促進に取り組むほか、さらなる新規路線開設に向けた誘致活動を進め、内外交流人口拡大により、地域活性化に貢献してまいります。



▲大韓航空 B737-800

大韓航空 金正洙 日本地域本部長のコメント

「この度、弊社が下地島空港への初の国際チャーター便を運航できることとなり、大変光栄に存じます。この便をご利用いただき、国内外の方々々に美しい島々の魅力を是非知って頂きたいと思っております。」



▲空港ターミナル内 待合スペース

SAMCO 代表取締役社長 伴野賢太郎のコメント

「大韓航空が、昨年に続いて宮古諸島へのチャーター便就航、また、みやこ下地島空港ターミナル開業後初となる国際チャーター便の就航を決定いただきましたことに感謝申し上げます。韓国からのお客様に宮古を楽しんでいただけるよう、地域一丸となってお客様をお迎えしたいと思っております。」

■チャーター便について

運 航 日：2019年5月31日、6月3、6、9日

就 航 機 材：ボーイング 737-800（座席数：138席/ビジネスクラス12席、エコノミークラス126席）

運航スケジュール：

日時	仁川⇒下地島				下地島⇒仁川			
	便名	仁川発	下地島着	運航形態	便名	下地島発	仁川着	運航形態
5/31	KE9735	11:30	14:10	チャーター	KE2936	15:10	17:55	フェリー*
6/3	KE9735	11:30	14:10	チャーター	KE9736	16:20	19:05	チャーター
6/6	KE9735	11:00	13:40	チャーター	KE9736	16:20	19:05	チャーター
6/9	KE2935	11:30	14:10	フェリー*	KE9736	16:20	19:05	チャーター

※上記スケジュールは予告なく変更される場合があります。関係諸機関の承認が条件です。*フェリー：旅客を運ばない回送便

■大韓航空について（2019年5月現在）

1969年設立。ソウルの仁川空港をハブとして5大陸44カ国124都市に1日460便以上を運航するグローバルエアラインです。167機の航空機を保有し、2018年は2,600万人以上が搭乗しました。主要事業は旅客、貨物、航空宇宙、ケータリング、機内販売。2018年よりデルタ航空との合併事業を開始しています。航空アライアンス「SkyTeam」の創立メンバーでもあり、SkyTeamは現在19社が加盟し、175カ国1,150都市へ毎日14,500便以上のフライトを提供。今年創立50周年を迎えた大韓航空は、今後も世界の航空業界を牽引する会社を目指し努力して参ります。

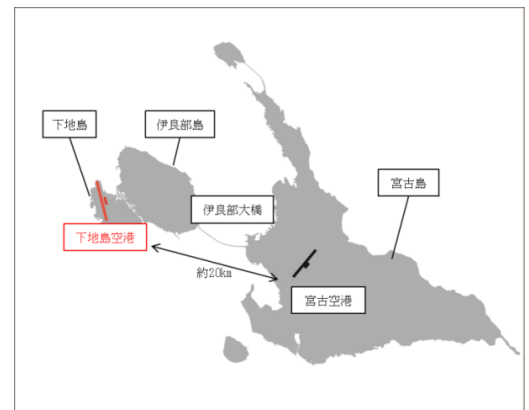
※大韓航空のスケジュール、サービスなどは「koreanair.com」、「facebook.com/KoreanAir」をご覧ください。



▲大韓航空 企業イメージ写真

■「みやこ下地島空港ターミナル」施設概要

開業日： 2019年3月30日
所在地： 沖縄県宮古島市伊良部字佐和田1727
敷地面積： 32,586㎡
延床面積： 12,027㎡
規模・構造： RC造 一部鉄骨造及び木造（CLT）
地下1階地上2階（旅客エリアは地上1階のみ）
主要施設： チェックインカウンター数12箇所、搭乗ゲート3箇所、
到着ロビー 国際線・国内線各1箇所、
飲食店2店舗、物販店3店舗（免税店含む）、
バス乗り場、タクシー乗り場、ATM、
レンタカー受付カウンター、レンタカー受け渡し場・洗車場



▲下地島空港位置図

■「空港から、リゾート、はじまる。」をコンセプトとした空間づくり

キーコンセプトを「空港から、リゾート、はじまる。」と掲げ、空港利用者や航空会社の視点に立った施設づくりに取り組んでいます。空港に到着した瞬間にリゾート体験のはじまりを感じてもらえるよう、豊かな緑や自然の光を取り込み、航空機への搭乗直前まで利用者がつろげる空間を演出しています。

国際線を受け入れる専用施設を設け、スムーズな入国・出国動線を確保する等、利用者の動線を意識した設計となっており、使い勝手の良さを追求しています。



▲チェックインロビー



▲空港ターミナル内 水上ラウンジ

以上